

六日小だより

創立 97周年
令和4年10月31日
荒川区立第六日暮里小学校
令和4年度 第8号
発行者 島埜 秀男



引き継がれてゆくもの

校長 島埜 秀男

土曜授業並びに学校公開にお越しいただきありがとうございました。児童の様子をご覧いただいたご感想はいかがでしたか。学校は、いつでもご意見ご感想をお待ちしています。

土曜授業の午後には、PTAの皆様のご協力により校庭で3年ぶりの「ドジョウつかみ」が行われ子供たちの歓声と笑顔でいっぱいになりました。感謝申し上げます。

早いもので今年度も折り返しとなりました。先日、就学時健康診断が行われました。来年度小学校に入学するお子さんと保護者の方が来校しました。今年度は5年生のお手伝いを感染防止対策をして行いました。当日の朝、5年生の児童にどんなお手伝いをするのか、どんな気持ちか聞くと「緊張する」「ドキドキする」「がんばります」などいろいろな表情がありました。始まる前に各役割の場所に行ってみると緊張しながらもテキパキと準備する頼もしい姿を見せてくれました。



5年生にとってのこの役割は大きな意味をもっています。学校の顔と言われる役割を6年生ではなく5年生が行うのです。来年度今の6年生は、卒業して六日小にいません。新一年生が頼るのは、今の5年生なのです。その最初の出会いであることや最高学年になること強く自覚する大切な機会となるのです。6年生はここを境に卒業生としての準備に入ります。このように学校は良き伝統を残しつつ引き継がれていきます。

学校職人教室でお越しいただいた荒川区無形文化財保持者の竹工芸翠屋の三代目武関章（ぶせき あきら）さんは、竹で花籠を作りながら児童にお話をしてくださいました。お話の中で「伝統工芸技術を引き継ぐことと共にその時代のニーズに合うように工夫することが大切である」という言葉が印象に残りました。

学校も同様だと思います。良き伝統を守りつつさらに工夫をして「笑顔をあふれる魅力ある学校」を目指していきたいと改めて感じました。これからもご理解とご協力よろしく申し上げます。

本校の経営方針の実践～安定した生活習慣は学力向上の基盤～

子供たちにとって安定した生活習慣を築くことは、子供たちの可能性を最大限に広げる要因の一つです。このために本校では、「六日しぐさ」の徹底や「三名人」への取組を全職員で取り組んでいます。生活習慣が身に付いていることは、学習効率を上げ、学びの質を高めることにもなります。

しかし、学校だけで達成できないことは、言うまでもありません。学校と家庭が共通理解のもと育成することが重要になります。学校では学期ごとに「さわやかチャレンジカード」を実施して保護者の皆様にもご協力いただいております。

本日はその結果を掲載いたします。ご覧いただきご家庭でも話し合ってください。かけにさせていただけると幸いです。よろしく申し上げます。※裏面参照

展覧会について

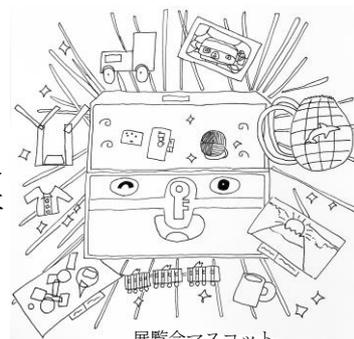
11月18日(金)～19日(土)に展覧会が行われます。
今年の展覧会のテーマは【ろくにち "いいな" びじゅつかん
— かんじて みつけて ひらめいて —】です。材料や自然に
触れてドキッと心が動いたり、素敵な色を見つけてわあ！と喜
んだり、「いいこと思いついた！」と目を輝かせたり……図工
の中で子どもたちは自分なりに感じて、見つけて、閃きながら
想像したことを工夫して表現しています。

そんな六日小のみんなの【いいな】が集まる素敵な展覧会を
目指して、子どもたち・教職員と一緒に準備を進めています！



展覧会マスコット

ひらめき ワンコ



展覧会マスコット

六日たから箱

5・6年生は総合の時間で、展覧会を盛り上げる活動を自分た
ちで企画・準備・実施してくれます。家庭科の作品も出品しま
す。どんな活動・作品になるかは、お楽しみに！

今の子どもたちだからこそ表せる作品の【いいな】を、保護
者・地域の皆様も【かんじて みつけて ひらめいて】いただ
けたら嬉しいです。

展覧会委員長

連合運動会について

12日(水)に連合運動会がありました。約1か月間練習を積み重ねてきま
した。当日は練習の成果を発揮し、最後までやりきることができました。5校
の6年生が集まる中で緊張したと思いますが、いい経験になったことと思いま
す。当日の朝集会では、学年発表を行いました。選手紹介をしたり、先生方と
リレー対決をしたりと大盛り上がりでした。

3年ぶりの連合運動会。9月から約一か月の間に、6年生はまた一步成長す
ることができました。ご声援いただき、ありがとうございました。

6年生担任



<11月の行事予定> *(寺):寺子屋(放課後学習)

月	火	水	木	金	土
	1 (寺)	2(寺) 生活科見学 (1.2年)	3 文化の日	4 児童集会 地域清掃活動	5
7 (寺) 全校朝会	8 (寺) 避難訓練	9 色覚検査 (4年生希望者) 4時間授業	10 (寺) 安全指導 たてわり班遊び	11 音楽朝会 算数検定 (希望者のみ)	12
14 (寺) 全校朝会 委員会 (6時間目)	15 (寺)	16 (寺) 脊柱側弯検診 (5年)	17 前日準備 (6年5校時)	18 展覧会 (児童鑑賞日)	19 展覧会 (保護者鑑賞日)
21 振替休日	22(寺) 全校朝会 展覧会片付け (5年) 5年生のみ6時 間授業	23 勤労感謝の日	24 (寺) 個人面談① 特別時程	25 個人面談② 特別時程	26
28 (寺) 全校朝会 個人面談③	29 (寺) 個人面談④ 特別時程	30 (寺) 個人面談⑤ 特別時程 社会科見学(3年)	12/1 (寺)	2	3 授業公開日

◎11月の目標 生活目標 進んで仕事をしよう
言語目標 「ありがとう」「ごめんなさい」を進んで言おう

さわやかチャレンジカードの結果から

学期ごとに実施しているさわやかチャレンジの集計結果です。規則正しい生活習慣は、児童が、学校で生き生きと活動するために必要なことです。また、学力向上の重要な要素のひとつでもあります。昨年の1月と今年度の5月・9月・1月を比較しました。

昨年度同様全学年とも寝る時間については課題がありますが、少し改善傾向が見られます。寝る時間が遅くなると起きる時間も守られない傾向がみられる。また、「時間を決めてTV・ゲームをした」もまだ数値が低くなっています。これは、密接な関連があると思われます。家庭に帰ってからの限られた時間を計画的に過ごすことができるように指導していきます。ご家庭ではSNS学校ルールから具体的な家庭ルールを決めて子供たちの環境づくりをしていくことが必要になっています。

学校では、靴ぞろえについては、学校では、90%以上まで向上していますが、家庭や地域ではまだ不十分であることがわかります。あいさつについても同様です。学校だけでなく家庭や地域でも実践できてはじめて習慣として身に付いたと言えます。家庭・地域でも学校と同様の指導をすることが児童の習慣化につながります。

家庭での読書量の減少も課題の一つです。少し向上しましたが今後も読書の質の向上も図っていきます。多くの本との出会いは、豊かな心を育むとともに表現力も豊かにします。学校では「隙間読書」を推進しています。常に読む本が手元にあるようにしています。家族では読書タイムを設定してみんなで読書をするのも一つの方法ではないかと思ます。また、本校では、毎日家庭学習をすること、時間のめやすは、「15分×学年＋読書」となっております。家庭で学習することは、学習の定着に欠かせないことです。あわせて読書を少しでも取り組めるようご協力のほどお願いします。

学習習慣や生活習慣を身に付けるための指導のポイントはなぜ、その習慣が要なのかを理解させ、大人が実践することが大事です。また、できない事を注意するよりもできていることを見逃さずにほめることです。学校・家庭・地域で共通理解のもと取り組んでいきたいことです。

